

寺田倉庫の PIGMENT、モスクワ現代美術館「GARAGE」で 日本画技法にまつわるワークショップ開催

寺田倉庫（東京都品川区 代表取締役：中野 善壽）が運営する伝統画材ラボ「PIGMENT」は、ロシアのモスクワ現代美術館「GARAGE」（Garage Museum of Contemporary Art）より招聘を受け、10月21日（土）、22日（日）、28日（土）、29日（日）の4日間にわたり、同美術館にて日本画技法にまつわるスペシャルワークショップ「Workshops on Traditional Japanese Painting by PIGMENT T-ART ACADEMY」を開催します。

PIGMENT では、厳選された画材にふれ、プロの技法を間近で学ぶワークショップ「T-ART ACADEMY」を開催しています。当日は PIGMENT 所長の岩泉慧ならびに、アーティスト・PIGMENT 画材エキスパートの長谷川早由が出張講師として、雲母刷り、継ぎ紙、水うちわ作り、日本画講座などのワークショップを通じ、日本画に用いる天然顔料や、和紙などの画材の使用方法や、伝統的な技法の秘訣を披露する予定です。

このたびのワークショップをはじめ、PIGMENT では今後もさまざまな取り組みを行ってまいります。



【モスクワ現代美術館「GARAGE」ワークショップ開催概要】 <https://garagemca.org/en>

■名称：「Workshops on Traditional Japanese Painting by PIGMENT T-ART ACADEMY」

■日時：2017年10月21日（土）雲母刷り／10月22日（日）継ぎ紙／

10月28日（土）水うちわ／10月29日（日）日本画講座 ※全日15:00～18:00

■会場：モスクワ現代美術館「GARAGE」（Garage Museum of Contemporary Art） Garage Glass Room

■講師：岩泉慧（PIGMENT所長）、長谷川早由（アーティスト・PIGMENT画材エキスパート）

<https://garagemca.org/en/event/public-program-for-the-exhibition-takashi-murakami-i-under-the-radiation-falls-i>

【PIGMENT について】 <https://pigment.tokyo>

PIGMENT は、絵具の材料となる顔料や膠、絵を描くための筆や刷毛といった"画材"と、そこから生み出される"色と表情"に特化した研究所であると同時に、アカデミー、ミュージアム、ショップの側面を持つ複合クリエイティブ機関です。4,500色に及ぶ顔料をはじめ、200を超える古墨、50種類の膠など古今東西の希少かつ良質な画材を取り揃え、「画材」と、それらの「用法」、そして両者の組み合わせによって生み出される「表情」について独自のアプローチで研究・教育・普及活動を行っています。

【寺田倉庫について】

1950年創業の寺田倉庫は、保管するものの本質を学び、極めて最適な条件で保存するために、積極的な設備投資を行っています。また、従来の倉庫業の枠組みを超え、保管だけに留まらず、お預かりしたものの価値を高めて後世に引き継ぐための保存や修復、及び空間活用のノウハウを活かして文化発信の拠点となる事業を積極的に進めています。特に美術品、映像音楽メディア、ワインといった専門性の高い商品の保存・保管設備や修理修復の技術は、業界内で高い評価を得ています。

社 名：寺田倉庫（Warehouse TERRADA）

事業内容：保存保管業及びその関連事業

代 表 者：代表取締役 中野 善壽

所 在 地：〒140-0002 東京都品川区東品川 2-6-10

設 立：1950年10月

U R L：<http://www.terrada.co.jp/ja/>

【報道関係からのお問い合わせ】

寺田倉庫 広報グループ TEL：03-5479-1651 / E-MAIL：pr@terrada.co.jp